

FASHION

IENA(イェナ)にて サマールック“Le club iena”を展開!

エリック・ロメール『夏物語』の舞台、フランスのビーチをイメージし、鮮やかなレッド・ブルーのカラーアイテムやレトロ調の柄をピックアップ。“Le club iena”と題し、IENAのサマールックを展開します。





I É N A

●開催期間:5/26[金]～
●IENA <http://iena.jp/>

**映画作家エリック・ロメールを語る
トークイベント開催!**

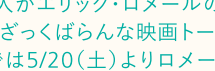
**フランス映画の魅力を考える
トークイベントを開催!**



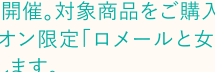

雑誌『映画横丁』編集人がエリック・ロメールの映画の面白さや魅力について語る、ざっくばらんな映画トーク。また会場のブックユニオン新宿では5/20(土)よりロメール関連書籍やDVDを集めたフェアも開催。対象商品をご購入いただいたお客様には、ブックユニオン限定「ロメールと女たち 四季篇」コラが葉をプレゼントします。

日時: 6/2 [金] 19:00~(終了予定20時頃)
出演: 月永理絵(映画酒場編集室) 参加費: 無料
会場: BIBLIOPHILIC & bookunion 新宿
 (新宿区新宿 3-17-5 カワセビル3階) **参加方法: 観覧自由**
 ※状況により入場制限をさせていただく場合がございます。
bbs@diskunion.co.jp
<http://diskunion.net/bibliophilic/>

EVENT



GRAND VIN DE VINOS YAMAZAKI



ロメール映画を例に、フランス映画のおもしろさやその背景となる文化についてシェアするプレミアトークイベント。フランスワインを飲みながら、フランス文学研究者の芳野まいさんに、ロメール映画のふしぎな魅力について語っていただきます。

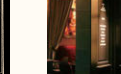
日時: 6/15 [木] 19:00~(終了予定20時頃)
出演: 芳野まい(フランス文学研究者) 参加費: 2000円
★フランスワインやチーズなどをご用意しています。
定員: 25名 会場: ヴィノスやまざき
 (千代田区有楽町2-7-1 イトシアフードアベニュー地下1階)
申込方法: 店頭、電話またはメール(予約開始5/29(月)~)
☎03-5224-6391 yuraku@v-yamazaki.co.jp
 ※電話予約はAM11:00~PM23:00までの間受け付けます。
<http://www.v-yamazaki.co.jp/>

PAULにて半券提示で
クロワッサンをプレゼント!

DVD

紀伊国屋書店より絶賛販売中!

『満月の夜』『緑の光線』『友だちの恋人』
『飛行士の妻』『美しき結婚』『海辺のボー
リーヌ』『レネットとミラベルの四つの冒険』
『木と市長と文化会館』『パリのランデブー』

対象店舗ご利用(イートイン)または商品のお買上げを1080円(税込)されたお客様で「ロメールと女たち 四季篇」半券ご持参の方、お一人様につきクロワッサン1個をプレゼントします。



●開催期間:6/3[土]~6/23[金]

●神楽坂店:新宿区神楽坂5-1-4神楽坂テラス1F ☎03-6280-7723 ●青葉台店:横浜市青葉区青葉台1-6-13セントロンビル1F ☎045-989-2255 ●あざみ野店:横浜市青葉区あざみ野2-1-2東急田園都市あざみ野駅1F ☎045-905-5307 ●六本木1丁目店:港区六本木1-6-1泉ガーデンタワー1F ☎03-5545-9515 ●四谷店:新宿区四谷1-5-25アトレ四谷1F ☎03-5368-8823 ●玉川店:世田谷区玉川3-17-1玉川高島屋SC B1F ☎03-5797-3170

<https://www.facebook.com/paul1889.japan/>

CINEMA 映画配信サイトBeauties

配信会社マーメイドフィルムの映画配信サイト。1作品350円で2日間10回まで再生可能。お手持ちのモバイル、PCで高画質な映像でお楽しみいただけます(本編冒頭5分間、無料で「ためし見」ができます)。

★配信作品……ミ・アンセン=ラブ『グッバイ・ファーストラブ』、ジュリー・デルピエ『スカイラブ』、ローバール・ブレンソン『スリ』、『ラルジャン』、ポーランド映画傑作選『イーダ』『イマジン』、ホロコートの記録と記憶『SHOAH ショア』他、話題作が続々登場!!

<http://beautiesweb.com>

エリック・ロメール監督特集上映「デジタル・リマスター版」

ロメールと女たち

四季篇

6月3日[土]
→6月23日[金]

※予告編上映は5分程を予定しております。

Eric Rohmer et ses muses : Contes des quatre saisons

	11:20	14:00	16:40	19:30
6/3 土	春のソナタ	夏物語	恋の秋	冬物語
4 日	愛の昼下がり	獅子座	モンソー／シュザンヌ	海辺のポーリーヌ
5 月	恋の秋	冬物語	春のソナタ	○侯爵夫人
6 火	モード家の一夜	春のソナタ	コレクションする女	夏物語
7 水	夏物語	モンソー／シュザンヌ	愛の昼下がり	恋の秋
8 木	緑の光線	クレールの膝	夏物語	聖杯伝説
9 金	冬物語	獅子座	満月の夜	恋の秋
	11:20	14:00	16:40	19:30
6/10 土	獅子座	恋の秋	愛の昼下がり	モンソー／シュザンヌ
11 日	春のソナタ	夏物語	冬物語	満月の夜
12 月	友だちの恋人	コレクションする女	海辺のポーリーヌ	夏物語
13 火	○侯爵夫人	冬物語	レネットとミラベル	クレールの膝
14 水	春のソナタ	夏物語	恋の秋	冬物語
15 木	聖杯伝説	春のソナタ	モード家の一夜	友だちの恋人
16 金	恋の秋	緑の光線	獅子座	春のソナタ
	11:20	14:00	16:40	19:30
6/17 土	冬物語	春のソナタ	恋の秋	夏物語
18 日	夏物語	愛の昼下がり	コレクションする女	モード家の一夜
19 月	レネットとミラベル	満月の夜	クレールの膝	冬物語
20 火	友だちの恋人	冬物語	春のソナタ	愛の昼下がり
21 水	恋の秋	獅子座	モンソー／シュザンヌ	夏物語
22 木	海辺のポーリーヌ	レネットとミラベル	冬物語	緑の光線
23 金	春のソナタ	愛の昼下がり	獅子座	恋の秋

トークイベント開催！

※登壇ゲストは予告なく変更になる場合がございます。

6/3(土)16:40『恋の秋』上映後
山崎まどかさん(コラムニスト)

6/4(日)14:00『獅子座』上映後
秦早穂子さん(映画評論家)

6/14(水)19:30『冬物語』上映後
井口奈己さん(映画監督)

6/23(金)16:40『獅子座』上映後
廣瀬純さん(映画評論家)

6/9(金)19:30『恋の秋』上映後
猫沢エミさん(ミュージシャン・文筆家)

鑑賞料金 (税込)

一般:1,800円／大学生・高校生:1,500円／中学生・小学生:1,000円／シニア(60歳以上):1,100円 等
 水曜サービスデー▶1,100円(男女共) TCGメンバーズカード会員割引▶土～月・木曜:1,300円 火・金曜:1,000円

前売鑑賞券 (税込)

劇場窓口、メイジャーネット通販(www.major-j.com)にて5月15日(月)より販売開始! *6月2日(金)まで

●1回券:1,400円 ●2回券:2,600円 ●トートバッグ付き2回券:3,600円 ★数量限定

★劇場窓口、メイジャーネット通販にて2回券をお買い求めの方には特製ポストカードを1枚プレゼント。(数量限定)

★トートバッグは上映期間中、劇場にて1,200円(税込)で販売します。



ポストカード



トートバッグ



1回券



2回券

角川シネマ有楽町

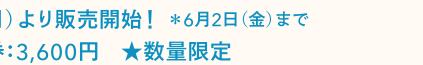
TEL.03 (6268) 0015

www.kadokawa-cinema.jp

ビックカメラ上 (読売会館8F)

JR有楽町駅 国際フォーラム出口前

全席指定・各回入替制





Conte d'été『夏物語』

春、夏、秋、冬、季節とともに織り成す、**四つの恋の物語。**

昨年大好評を博したエリック・ロメール監督特集上映、待望の第二弾。四つの季節のなかでくりひろげられる「四季の物語」を中心に、初期短編を含む全18作品を上映。



Conte de printemps『春のソナタ』



Conte d'automne『恋の秋』



Conte d'hiver『冬物語』



Conte d'été『夏物語』
© Eric Rohmer / LES FILMS DU LOSANGE

6月3日[土]
→ 6月23日[金]
角川シネマ有楽町
にて上映

エリック・ロメール監督特集上映 [デジタル・リマスター版]

春、桜が咲くパリ郊外の別荘で。
夏、ブルターニュのリゾート地で。
秋、ローヌ渓谷のワイン畑で。
冬、寒々としたパリの街で。
エリック・ロメールが贈る、
四つの小さな恋物語。

恋愛、友情、休暇、食事……
エリック・ロメールの映画には、
人生に必要なものがすべてがつまっています。
映画が描き出すのは、真夏の南仏でのヴァカンスや
冬のパリでの夜遊び、郊外の街での日常生活など、
フランスの素朴な雰囲気を感じられるものばかり。
そんななか恋愛や愛をめぐって交わされる
女たちのとめとないおしゃべりは、
人生の快楽と欲びを私たちに届けてくれます。
可憐な少女たちをエロティックに描き、
大人の女の無垢さを映し出す珠玉の恋愛映画たち。
ファンをあいだでも特に人気の高い
連作シリーズ『四季の物語』をはじめ、初期短編や
上映機会の少ない貴重な作品を二挙上映。
季節の変化を楽しみながら、さまざまな
愛のかたちをご堪能ください。

しんねりむっとりしてて、陰鬱で、
見たら勉強になりそうな映画が
アリガタがられてた90年代初頭に、
ふざけててチャーミングで軽やかで、
人生はただただ快乐的なものが正義って
小声で教えてくれたのはエリック・ロメールの映画だし、
ロメール映画に出演している女の子たちだった。

——井口奈己(映画監督)

『緑の光線』『冬物語』は私に大きな影響を与えました。
私にとって最も重要な監督、それがロメールなのです。

——ミア・ハンセン＝ラブ(映画監督/『未来よ こんにちは』)
[Cineuropa] (2016年2月インタビュー)より

『冬物語』は本当に大好きな映画です。
主演のシャルロット、そして彼女の恋人。
忘れられない愛の記憶を描いた、
実にロメールらしい映画です。

——エリーズ・ジラル(映画監督/『ベルヴィル・トリーキー』)

エリック・ロメール [1920～2010年]

高校で文学教師をつとめた後、1959年に長編映画『獅子座』を監督。ゴダール、トリュフォーらより10歳ほど年長でヌーヴェルヴァーグの兄貴分的存在だったロメールは、彼らから「親愛なるモモ」と呼ばれ親しまれました。また映画批評家としても活躍し、57年から63年まで映画批評誌『カイエ・デュ・シネマ』編集長もつとめています。2010年に亡くなるまで、『六つの教訓物語』『喜劇と格言劇』『四季の物語』シリーズをはじめ、哲学的なテーマのなかで美しい女たちを描き、多くの観客を魅了したロメール。弟子を自称するホン・サンス(『3人のアンヌ』)から、リチャード・リンクレイター(『セフィア・サンセット』)、ノア・バーム・バック(『フランス・ハル』)、ミア・ハンセン＝ラブ(『未来よ こんにちは』)まで、彼の作品から影響を受けた映画人は数えきれません。フランスの美しい風景のなか、年齢もタイプも多様な女たちがくりひろげるウィットに富んだ会話劇は、時代を超えて見る者すべてを魅了します。

エリック・ロメールの人生	
	
1920年（0歳）	3月21日、フランスのコレーズ県チュールに生まれる。本名ジャン＝マリ・モーリス・シュレール。
1942年（22歳）	文学教師の資格を得て、パリのリセで古典文学の教師として働き始める。
1946年（26歳）	ジル・ベール・コルディエの筆名で長編小説「エリザベト」を出版（執筆は1944年、邦訳は『ユイカ』2002年11月号に掲載）。
1948年（28歳）	パリで教鞭をとるかわら、『レ・タン・モデルヌ』や『ラル・ヴュ・デュ・シネマ』にて映画批評を執筆し始める。
1949年（29歳）	リセの生徒たちと『シネクラブ・デュ・カルチエ・ラタン』を始め、ジャン＝リュック・ゴダールやジャック・リヴェット、クロード・シャブローと出会う。『オプジュクティブ49』が主催した「既視した映画祭」でフランソワ・トリュフォーと出会う。
1950年（30歳）	『シネクラブ・デュ・カルチエ・ラタン』の会報『ラ・ガゼット・デュ・シネマ』を創刊（全5号で廃刊）。無声短編『ある悪党の日記』を監督。
1951年（31歳）	4月、アンドレ・バザンが編集長をつとめる映画批評誌『カイエ・デュ・シネマ』が創刊され、寄稿はじめる。ジル・ベール・コルディエの筆名で、『クレールの膝』の原案小説『葡萄園』を、ポール・ジュゴフとの共著として『カイエ・デュ・シネマ』に発表。短編『紹介あるいはシャルロットとステーク』を監督。
1952年（32歳）	初の長編映画『お手本になる女の子たち』を監督（未完成）。
1954年（34歳）	テープレコーダーによる音声付短編『ペレニス』を監督、自ら出演。
1955年（35歳）	『カイエ・デュ・シネマ』に「セルロイドと大理石」を連載（死後、2010年に書籍化され出版、未邦訳）。
1956年（36歳）	中編『クワイヴェル・ソナタ』を監督、自ら出演。
1957年（37歳）	3月、『カイエ・デュ・シネマ』編集長に就任（←63年）。シャブローとの共著『ヒッチコック』を出版（邦訳は2015年に出版）。ゴダールと喜劇短編連作『シャルロットとヴェロニクの冒険』を開始。ゴダールの「男の子の名前はみんなバトリックっていう」の脚本を手がける。8月22日、テレーズ・バルベと結婚（その後2子をもうける）。
1958年（38歳）	初の35ミリ短編『ヴェロニクと怠惰な生徒』を監督。11月、アンドレ・バザンが死去。
1959年（39歳）	夏、初の長編『獅子座』を監督（公開は62年）。
1962年（42歳）	5月、『獅子座』がパリで公開。友人で映画監督のバルベ・シュローデルと共に映画製作会社（レ・フィルム・デュ・ロザンジュ）を設立、第1回製作作品として〈六つの教訓物語シリーズ〉第1弾『モンソーのパン屋の女の子』（短編）を監督。
1963年（43歳）	〈六つの教訓物語シリーズ〉第2弾『シュザンヌの生き方』（中編）を監督。テレビの教育シリーズ番組を撮り始める（←70年）。
1964年（44歳）	短編『パリのナジャ』、ゴダールやシャブローらが参加したオムニバス映画『パリとどこころ』の一編として短編『ストワール広場』を監督。
1965年（45歳）	テレビのドキュメンタリー・シリーズ（現代の映画作家たち）で『カール・ドライヤー』『セルロイドと大理石』を撮る。リュック・ムレ監督『ブリジットとブリジット』に文学教授役で出演。
1966年（46歳）	〈六つの教訓物語シリーズ〉第4弾『コレクションする女』を監督、67年ベルリン国際映画祭で銀熊賞受賞。短編『現代の女子学生』を監督。
1967年（47歳）	短編ドキュメンタリー『モンファコンの農夫』を監督。
1968年（48歳）	〈六つの教訓物語シリーズ〉第3弾『モード家の一夜』を監督、69年アカデミー賞外国語映画賞、70年アカデミー賞脚本賞にノミネートされる。
1969年（49歳）	パリ第一大学で映画史の講義を始める。
1970年（50歳）	〈六つの教訓物語シリーズ〉第5弾『クレールの膝』を監督。リヴェット監督『アウト・ワン』にバルザクの専門家役で出演。
1972年（52歳）	〈六つの教訓物語シリーズ〉第6弾『愛の昼下がり』を監督。アンドレ・バザンのチャップリン論と自らの原稿をあわせた書籍『チャーリー・チャップリン』（未邦訳）を出版。

Eric Rohmer

エリック・ロメール監督特集上映

ロメールと女たち 四季篇

〔上映作品 全デジタル・リマスター版〕

四季の物語



© Les Films du Louage

春のソナタ

1989年／107分／カラー／デジタル
 出演：アンヌ・テセドル、ユージ・カステル、フロランス・ダレル

哲学教師ジャンヌは、旅行中の恋人の家の汚さに耐えきれず自分のアパートへと逃げ帰るが、そこはいこが占領中。居場所のないジャンヌは、パーティーで知り合った18歳のナターシャの家に泊まることに。そこにナターシャの父イゴールと若い恋人が加わり、パリの家とフォンテーヌブローの別荘で、女たちの奇妙な静いが始まる。美しい春の庭でくり広げられる、三人の女と一人の男の恋愛ゲーム。



© Les Films du Louage, Le Signe Cinema 1988

恋の秋

《四季の物語》第4弾
 CONTE D'AUTOMNE

1997年／112分／カラー／デジタル
 出演：シリー・リヴィエール、ヘアトリス・ロマン

親友同士のイザベルとマグリ。娘の結婚の準備をするイザベルは、夫の死後独身のままでいるマグリを心配するが、ワイン畑を営む彼女にその気はない。一計を案じたイザベルはマグラのふりをして婚活を始めるが、事態はおかしな方向へ。40代女性の恋と友情を描いた作品だが、対照的な二人の関係や、ペアの相手が微妙に入れ替わる様など、『友だちの恋人』との対応関係もおもしろい。

中 短 編

モンソーのパン屋の女の子

《六つの教訓物語》第2弾
 LA BOULANGÈRE DE MONCEAU

1963年／28分／白黒／デジタル
 出演：バルベ・シュレデル、ミッシェル・ジラルドン

1963年／28分／白黒／デジタル
 出演：カトリーヌ・セー、フリプ・ブーゼン

大学生ベルトランは、アイルランドからの留学生ソフィーに密かな好意を抱いている。一方、カフェで知り合ったシュザンヌは友人のギヨームに夢中だが、ベルトランはそんな彼女をどこか軽蔑している。主人公の独白によって物語が語られていくなか、パリの街の喧騒や風景が、白黒の画面のなかでリアルに映し出される。

6/4(日) 16:40
6/7(水) 14:00
6/10(土) 19:30
6/21(水) 16:40
*『シュザンヌの生き方』と併映



© Les Films du Louage, La Signe Cinema 1988

夏物語

《四季の物語》第3弾
 CONTE D'ÉTÉ

1996年／114分／カラー／デジタル
 出演：メルヴィル・ブロー、アマンダ・ラングレ

ヴァカンスを恋人のレナと過ごすため、リゾート地ディナールへやってきた大学生ガスパール。クレープ屋で働くマルゴと親しくなるが、パーティーで知り合ったソレーヌとも急接近。そんななか待ち望んだレナとも再会し…。四季シリーズで唯一男が主人公となった本作は、マルゴ役のアマンダ・ラングレの存在もあり『海辺のボーリーヌ』とのセットで語られることも多い。ロメール最後の夏休み映画。



© Les Films du Louage, C.F.R. 1991

冬物語

《四季の物語》第2弾
 CONTE D'HIVER

1991年／114分／カラー／デジタル
 出演：シリー・リヴィエール、フレデリック・ヴァン・デン・ドリュシェ

フェリシーは旅先で知り合ったシャルルと運命的な恋に落ちるが、旅から戻った後、彼に教えた自宅の住所の間違いに気づく。5年後、一人で娘を育てるフェリシーは、インテリのロイックと既婚者のマクサンスの間で揺れ動くが、心は今もシャルルのものにある。運命に弄ばれながら本物の愛を探し求める女の信念と、やがて訪れる奇跡。タイトルはシェイクスピアの悲喜劇『冬物語』より採られた。

シュザンヌの生き方

《六つの教訓物語》第2弾
 LA CARRIÈRE DE SUZANNE

1963年／52分／白黒／デジタル
 出演：カトリーヌ・セー、フリプ・ブーゼン

1963年／52分／白黒／デジタル
 出演：カトリーヌ・セー、フリプ・ブーゼン

大学生ベルトランは、アイルランドからの留学生ソフィーに密かな好意を抱いている。一方、カフェで知り合ったシュザンヌは友人のギヨームに夢中だが、ベルトランはそんな彼女をどこか軽蔑している。主人公の独白によって物語が語られていくなか、パリの街の喧騒や風景が、白黒の画面のなかでリアルに映し出される。

6/4(日) 16:40
6/7(水) 14:00
6/10(土) 19:30
6/21(水) 16:40
*『モンソーのパン屋の女の子』と併映

獅子座

LE SIGNE DU LION

1959年／100分／白黒／デジタル

出演：ジェス・ハーン、ヴァン・ドード



© Les Films du Louage

40歳になる直前、伯母の莫大な遺産を相続できると知ったビエールは、仲間たちを集めてとんちんかんさわざ。だがいくら待っても頼みの遺産を相続できず、ビエールはヴァカンス期で閑散としたパリの街をひとり孤独に彷徨うはめに、「勝手にしやがれ」や「大人は判ってくれない」が公開され、まさにヌーヴェルヴァーグの名が知れわたった1959年、39歳のロメールが監督した記念すべき長編第1作。

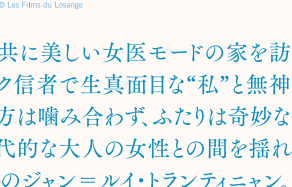
6/4(日) 14:00
6/9(金) 14:00
6/10(土) 11:20
6/16(金) 16:40
6/21(水) 14:00
6/23(金) 16:40

モード家の一夜

《六つの教訓物語》第3弾
 MA NUIT CHEZ MAUD

1968年／110分／白黒／デジタル

出演：ジャン＝クロード・ブリアリ、ベアトリス・ワーズ、ファビアン



© Les Films du Louage

1968年／110分／白黒／デジタル
 出演：ジャン＝クロード・ブリアリ、ベアトリス・ワーズ、ファビアン

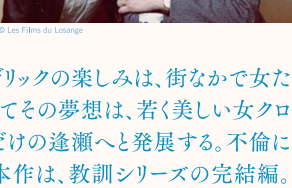
6/6(火) 11:20
6/15(木) 16:40
6/18(日) 19:30

愛の昼下がり

《六つの教訓物語》第6弾
 L'AMOUR L'APRÈS-MIDI

1972年／98分／カラー／デジタル

出演：ベルナール・ヴェルレー、ズーズー



© Les Films du Louage

1972年／98分／カラー／デジタル
 出演：ベルナール・ヴェルレー、ズーズー

6/4(日) 11:20
6/7(水) 16:40
6/10(土) 16:40
6/18(日) 14:00
6/20(火) 19:30
6/23(金) 14:00

コレクションする女

《六つの教訓物語》第4弾
 LA COLLECTIONNEUSE

1966年／86分／カラー／デジタル

出演：バトリック・ボーション、アイデ・ボリトフ



© Les Films du Louage

画廊のオープンを控えたアドリアンは、恋人からの誘いを断り、骨董収集家との商談のため南仏サン＝トロベへ。友人の別荘に滞在する彼は、美しく奔放な少女アイデと出会う。まるでコレクションのように次々と男を引っ掛けるアイデに苛立ちながらも惹かれるアドリアン。新緑のなかのびのびと肢体を解放する少女と、自意識に凝り固まった男の対照的な様が可笑しい。ベルリン国際映画祭銀熊賞受賞。

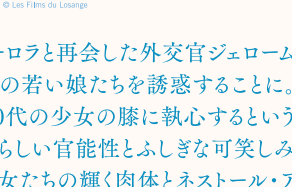
6/6(火) 16:40
6/12(月) 14:00
6/18(日) 16:40

クレールの膝

《六つの教訓物語》第5弾
 LE GENOU DE CLAIRE

1970年／106分／カラー／デジタル

出演：ジャン＝クロード・ブリアリ、ベアトリス・ロマン



© Les Films du Louage

1970年／106分／カラー／デジタル
 出演：ジャン＝クロード・ブリアリ、ベアトリス・ロマン

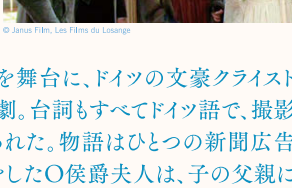
6/8(木) 14:00
6/13(火) 19:30
6/19(月) 16:40

O侯爵夫人

DIE MARQUISE VON O...

1975年／103分／カラー／デジタル

出演：エディット・クレヴァー、ブルーノ・ガンツ



© Les Films du Louage

1975年／103分／カラー／デジタル
 出演：エディット・クレヴァー、ブルーノ・ガンツ

6/5(月) 19:30
6/13(火) 11:20

聖杯伝説

PERCEVAL LE GALLOIS

1978年／135分／カラー／デジタル

出演：ファブリス・ルキニー、アンドレ・デュソリエ



© Les Films du Louage

『O侯爵夫人』に続いてつくられた異色の歴史劇。ファブリス・ルキニー演じる野蛮で無知な若者ペルスヴァルは、騎士になることを目指し冒険の旅に出る。原作は、フランス中世最大の物語作家クレチアン・ド・トロワの未完の騎士物語。ロメール作品では珍しく大掛かりなセットと製作費を要した本作。中世の細密画のように平板な画面のなかで、奇想天外なファンタジーが展開される。

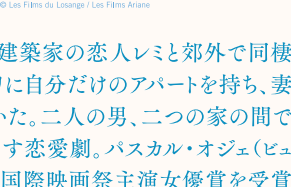
6/8(木) 19:30
6/15(木) 11:20

満月の夜

《喜劇と格言劇》第4弾
 LES NUITS DE LA PLEINE LUNE

1984年／101分／カラー／デジタル

出演：パスカル・オジェ、チェッキー・カリョ



© Les Films du Louage, Les Films Arca

1984年／101分／カラー／デジタル
 出演：パスカル・オジェ、チェッキー・カリョ

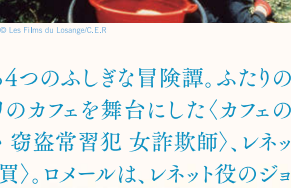
6/9(金) 16:40
6/11(日) 19:30
6/19(月) 14:00

レネットとミラベル／四つの冒険

QUATRE AVENTURES DE REINETTE ET MIRABELLE

1986年／99分／カラー／デジタル

出演：ジャンカ・フォルド、ジョエル・ミケル



© Les Films du Louage

1986年／99分／カラー／デジタル
 出演：ジャンカ・フォルド、ジョエル・ミケル

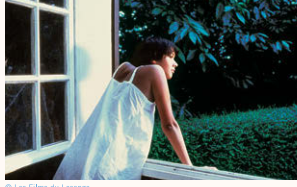
6/13(火) 16:40
6/19(月) 11:20
6/22(木) 14:00

海辺のボーリーヌ

《喜劇と格言劇》第3弾
 PAULINE À LA PLAGE

1983年／95分／カラー／デジタル

出演：アマンダ・ラングレ、アリエル・ドンパール



© Les Films du Louage

年上のいとこマリオンと、ノルマンディの別荘ヘヴァカンスにやって来た15歳のボーリーヌ。6人の男女の恋愛ゲームであり、大人との端境期にある少女のひと夏の恋物語でもある本作は、ロメールの美少女映画の傑作。輝く太陽光のなか、海辺や木々の下ですてきなリゾートファッションに身をつつんだ女たちにとっとりと見惚れてしまう。ベルリン国際映画祭銀熊賞・国際批評家連盟賞受賞。

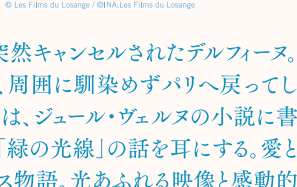
6/4(日) 19:30
6/12(月) 16:40
6/22(木) 11:20

緑の光線

《喜劇と格言劇》第5弾
 LE RAYON VERT

1985年／99分／カラー／デジタル

出演：マリー＝リヴィエール、リサ・エレディア



© Les Films du Louage, Les Films Arca

1985年／99分／カラー／デジタル
 出演：マリー＝リヴィエール、リサ・エレディア

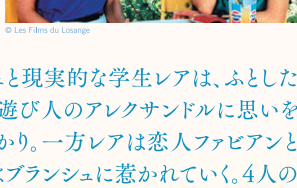
6/8(木) 11:20
6/16(金) 14:00
6/22(木) 19:30

友だちの恋人

《喜劇と格言劇》第6弾
 L'AMI DE MON AMIE

1987年／104分／カラー／デジタル

出演：エマニュエル・ジョーレ、ソフィ・マルワール



© Les Films du Louage

1987年／104分／カラー／デジタル
 出演：エマニュエル・ジョーレ、ソフィ・マルワール

6/12(月) 11:20
6/15(木) 19:30
6/20(火) 11:20

Éric Rohmer et ses muses : Contes des quatre saisons